

倍力ズンギリカッター

ZCB-38M

このたびは「倍力ズンギリカッター」をお買い上げいただきありがとうございました。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、手順に従って正しく使用してください。お読みになった取扱説明書はお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

- 【特長】**
- 倍力構造の採用により、手でズンギリボルトを切断可能
 - ネジ山をつぶさずに切断でき、スムーズにナットを装着できます。
 - 軽量・コンパクトで高所や狭いところでの作業にも最適

- 【適用】**
- 軽天工事などに用いられるズンギリボルトの切断
 - 標準装備の切断刃 (ZCB-38P) でW3/8ボルトを切断
 - 別売の替刃 (ZCB-M10P) に取り換えることによりM10ボルトを切断可能

警告

- ご使用前に本書をよく読み手順に従って正しくお使いください。工具は正しく使用されなかったり過酷に使用された場合、損傷や破損の原因となり危険を伴います。注意深い使用により最大の効果を上げることができます。
- ハンドルを開閉することで、本体およびアームが連動して動きます。ご使用時には手や指などを挟まないようにご注意ください。
- 本製品は、軽天材工事などに用いられるズンギリボルト用です。ステンレス材やサイズ規格の異なるネジに使用しますと切断刃や本体の故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- ご使用前に本体フレームや切断部に不具合がないかを確認してください。異常がある場合、そのまま使用しますと重大な事故につながる恐れがありますので、使用しないでください。
- 重大な事故の原因となる場合がありますので、当社に無断で分解したりしないでください。

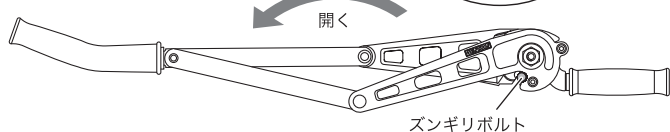
注意

- 本書に書いてある用途以外に使用しないでください。
- 作業完了後は故障の原因となるため、砂等を取り除き時々注油してください。
- ハンドルにパイプ等を継ぎ足して使用しないでください。
- 作業時は周りの安全を確かめて使用してください。
- ボルトメーカーによってはネジ山の変形、バリが発生する場合があります。ご使用前に必ず「切断刃の調整・確認の手順」の通りに調整、確認を行ってください。
- 完全に切断されていない状態からボルトを無理に取り外したり、引きちぎることはしないでください。切断刃の破損、損傷の原因となります。
- 切断刃は消耗品です。替刃式ですので、切れ味が悪くなってきたら新しい刃に交換してください。別売として、替刃ZCB-38P (W3/8ボルト用)、ZCB-M10P (M10ボルト用) を用意しています。切断するボルトに合った替刃をお買い求めください。

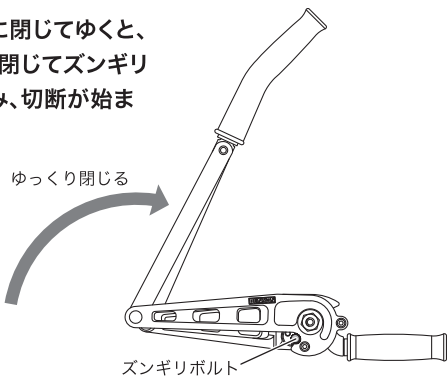
切断の手順

- ご使用前に切断するボルトと切断刃のネジ山が合致しているか確認してください。合致していなければ、切断するボルトと切断刃のサイズの再確認と、「切断刃の調整・確認の手順」の通りの調整をしてください。
- 特に切断刃の固定ボルトの緩みがないか確認してください。

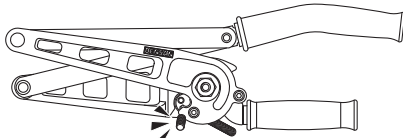
- 1** 左右のハンドルを直線状に開くと切断刃部分が開口するので、そこにズンギリボルトを挿入します (左右の刃の合わせ面が切断箇所になります)



- 2** ハンドルを徐々に閉じてゆくと、左右の切断刃が閉じてズンギリボルトに食い込み、切断が始まります



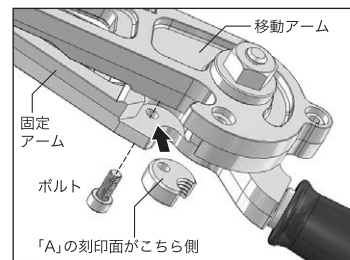
- 3** ハンドルを完全に閉じると、ズンギリボルトの切断が完了します



切断刃の調整・確認の手順

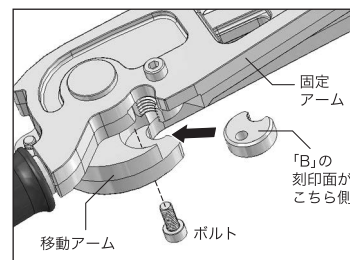
① 固定アーム側の取り付け

替刃の刻印「A」が見えている状態であることを確認し、固定しているボルトを緩めます。刻印「B」が見えている状態は取り付け方向が違います。ボルトを外し、正しい方向に取り付け直してください。



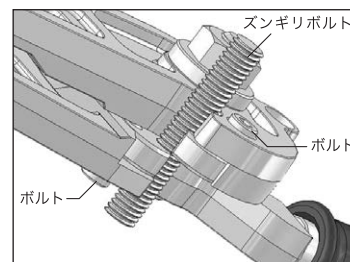
② 移動アーム側の取り付け

替刃の刻印「B」が見えている状態であることを確認し、固定しているボルトを緩めます。刻印「A」が見えている状態は取り付け方向が違います。ボルトを外し、正しい方向に取り付け直してください。



③ 最終確認

アームを動かしながら、両方の刃のネジ山とズンギリボルトのネジ山が合致するように刃の位置を調整した後、上記①②で緩めたボルトをレンチでしっかりと増し締めしてください。
※切断刃とボルトのネジ山が合致していないと、ネジ山の変形や切断刃の破損、損傷の原因となります。調整は慎重に行ってください。



- 収納時サイズ: 370×115×52mm
- 質量: 1.8kg